

天 **パン焼きの匂ひ漂ふ木槿垣** (宗道)

蜘蛛の知る蜘蛛の囲架ける手順あり (門屋)

紫陽花や通りすがりにふと撫づる (宗道)

夏めきて浜辺の子等の肌白し (門屋)

いわれある苔寺に座す雨蛙 (篠原)

人気なき空地に枇杷のたわわなる (宗道)

したたるる汗も得意げヤマ慣らし (白堂)

オロシアの大向日葵の高笑いひ (浄淵)

海開祝詞かき消す飛沫かな (浄淵)

娘柄浴衣羽織ってまた脱いで (白堂)

大風の去りて玄海月満る (白堂)

人々人々人々人々人々

1 向日葵や打ち捨てられしゴムホース (霊峰) 22 夕風ぎて影おそろしく黒きかな (霊峰) 2

2 人気なき空地に枇杷のたわわなる (宗道) 3 23 白むくげ散りて花びら畳みけり (宗道) 2

3 咲き満ちて夕日に祈る日輪草 (浄淵) 1 24 海開祝詞かき消す飛沫かな (浄淵) 3

4 博多織見つめる静けさ夏祭り (寶州) 1 25 夏めきて浜辺の子等の肌白し (門屋) 4

5 野良猫の伏し目に餌置く梅雨お婆 (篠原) 1 26 娘柄浴衣羽織ってまた脱いで (白堂) 3

6 したたるる汗も得意げヤマ慣らし (白堂) 3 27 堂内の蜻蛉掃き出すあしたかな (寶州) 1

7 蜘蛛の知る蜘蛛の囲架ける手順あり (門屋) 4 28 いわれある苔寺に座す雨蛙 (篠原) 4

8 雨風に負けるものかと百合の立つ (無傳) 29 梅雨明を待ちわびるかや子らの声 (無傳)

9 大盛りのつゆだく頼む暑さかな (霊峰) 1 30 放射性の何か飛ばして蝉時雨 (霊峰)

10 海開ママの粧ひパパ不安 (浄淵) 31 愚直なる向日葵として咲き通す (浄淵) 1

11 パン焼きの匂ひ漂ふ木槿垣 (宗道) 5 32 大風の去りて玄海月満る (白堂) 3

12 緋鯉寄る水面のうねりゆつたりと (門屋) 2 33 あやめ草友の細道旅日記 (門屋) 1

13 山笠の官兵衛兜のおかしさよ (寶州) 1 34 青鷺や池にくつきり影落とす (宗道) 2

14 ぬるぬると風ぬるく台風の近き (霊峰) 35 出番待つ勢い水の静けさよ (寶州) 2

15 風に立つカサブランカは深紅なり (白堂)

16 先生の酒盛りせむと赤とんぼ (篠原) 1

17 ホタル狩りやつと行きえし今年かな (寶州)

18 オロシアの大向日葵の高笑い (浄淵) 3

19 紫陽花や通りすがりにふと撫づる (宗道) 4

20 夏の月叔母の遺窯の錆深し (門屋) 1

次回の投句締切は、八月十五日(金)です。暑い中ですが、よろしくお願ひします。

